



手話の普及と  
ご理解をお願い  
します。

# 「少し知っている」 それだけで心強い

大磯町身体障害者福祉協会会長の寺澤弘さんに  
手話の紹介をしていただきました。



おはよう

こんにちは

ありがとう



こんばんは

元気ですか

## 障がいに関するマーク

- ①障がいのある人に配慮した建物、施設を示すマーク
- ②援助や配慮を必要としている人のマーク（ヘルプマーク）
- ③視覚障がいのある人の安全に配慮した建物、施設を示すマーク
- ④聴覚障がいの方が車に表示するマーク
- ⑤補助犬同伴の啓発のためのマーク
- ⑥肢体不自由の方が車に表示するマーク



住所 大磯町国府本郷1196  
 電話番号 (73)4530  
 ファックス (73)1285  
 開館時間 8時30分～17時15分  
 休館日 日曜・祝日・年末年始

**横溝千鶴子記念  
障害福祉センター**  
 平成15年4月に障がいをお  
 持ちの方や介護者の方々に、  
 総合的な福祉サービスを提供  
 する拠点として、また、障が  
 い者とボランティアや地域の  
 方々との交流拠点として設置  
 しました。主な事業としては、  
 障害者手帳の申請など障がい  
 福祉の各種手続きや相談がで  
 きます。



2020年1月に大磯町・二宮町が湘南西部保健福祉圏障害者差別解消支援地域協議会の事務局にて開催された「湘南西部保健福祉圏  
障害者差別解消フォーラム2020」の看板を地域支援センターそしんを利用しているお子さんや職員さんに作成してもらいました。

57年間という長い道のりを  
 地域とともに歩んできた素心  
 会。「この町でもっとも生きる」  
 ということをどう考えるか。  
 社会福祉法人素心会萩原理  
 事長にお話を伺いました。

私が素心会に入った35年以  
 上前、当時の利用者のご家族  
 は「ずっと素心学院にいられ  
 るのか」を心配しており、そ  
 れが願いでした。今は、その  
 時の約束や願いを果たせたの  
 ではないかという感じがして  
 います。

当時は、知的障がいの方が  
 どれくらい生きられるのかも  
 分からなかったし、はやく亡  
 くなってしまおうのではないか  
 とも言われていました。今で  
 は、彼らは僕らと同じように  
 天寿をまっとうするというこ  
 とが分かってきました。

初めは、利用者の方の生涯  
 を支援することができるのか  
 と悩んでいました。

分らなかったけれども、今  
 ままでに多くの方と最後までお  
 付き合いすることができまし  
 た。

当時の親御さんの多くは亡  
 くなりましたが、今伝えたい  
 のは「あの時の心配は心配  
 だけで終わりましたよ」と。  
 当時は全県を対象とした入  
 所施設しかないような時代で、  
 町という視点から見ると、大  
 磯町出身の利用者はそんなに  
 多くはありませんでした。町  
 にありながら、町でない素心  
 学院みたいな存在だったと思  
 います。

平成に入り、地域福祉とい  
 う流れの中で、素心デイセン  
 ターや地域支援センターそし  
 んができ、大磯町の方々に  
 いぶん使ってもらっていただけ  
 います。

これまでの積み重ねを大磯  
 町の中で実践していくという  
 ところに、素心会はますます



この数字は何の数字だ  
 と思いますか？  
 正解は、社会福祉法人  
 素心会が大磯町とも  
 に歩んできた年数です。



力を入れていきたいと思っ  
 ています。大磯町の障がいを持  
 った人たちがずっとこの大磯  
 町の中で生きていくことを支  
 援していきたい。

日々の支援は容易ではあり  
 ません。日常の忙しさの中で  
 見失ったり、これ以上は難  
 しいと思うこともありませ  
 ず、「あの頃の願い」に少しづ  
 つ向かってきたように、共生社  
 会というもの、「この大磯町  
 の中でこの町の人たちと一緒  
 に生きる」ということに力を  
 傾けていく素心会でありたい  
 と思っています。

